THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA

WEEKLY
なごや ちくさ
題字 黒野貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承　認　1982年　8月24日
例会日　火曜日　12：30
例会場　愛知厚生年金会館
事務局　☎763－5110
会　長　秋山茂則
幹　事　和田正敏
会報委員長　佐野　寛

No. 5

自分を超えた眼を
LOOK BEYOND YOURSELF
1991～92年度　RI会長　ラジェンドラ・K・サブー

第443回例会　平成３年７月30日(火)　曇

◇ "奉仕の理想"

◇出席報告
会　員　67名　出席　51名
出席率　76.12%
前　回　７月23日（修正出席率）98.51%

◇ビジター紹介　５名

◇お誕生日祝福
深見夫人(7/27)、笹野君(7/30)
鈴木(正)夫人(8/2)

◇ニコボックス
秋山　茂則君　今日の笑顔よろしく！
和田　正敏君　保健所長笹野先生、講演ありがとうございます。
山本　真輔君　鷺谷様、大変お世話になりました。
中山　信夫君　日頃は、例会出席率の向上にご協力頂きありがとうございます。会場設営の都合上欠席をされる方は、事前に事務局までご連絡下さるようお願いします。
久保田　皓君　ちょっと忙しくて。
笹野　義春君　誕生日祝い。
深見　章君、鈴木　正男君　夫人誕生日祝い。

◇和田幹事報告
1．本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方は１Ｆ葵の間にお集まり下さい。
2．第2600地区岡谷ＲＣより地区大会(10/26、27)のご案内が来て居ります。参加御希望の方は事務局までお申し出下さい。

◇竹内雑誌委員長報告
貴重なお時間を拝借して皆様にご報告したいことがございます。
月初めにロータリーの友をお渡ししておりますが、一体どれだけの人にお読みいただいておりますでしょうか。
そこで、雑誌委員会では、適宜ご指名申し上げ、月に２度程例会時に雑誌の窓というお時間を頂戴して読後感想・内容の紹介等をして頂くことになりましたので、ご協力をお願いします。

◇秋山会長挨拶
日米関係に思う
雑誌プレジデント８月号に日米「宿命の150年戦争」と銘打った特集をやっていた。150年というのはペリーが黒船で浦賀にやって来てからのことをいう。豊田穣氏が太平洋戦争で捕虜となり読まされた本に「1853年ペリーの黒船が浦賀にやって来て以来アメリカは日本の近代化に尽くし、生糸を始め常に最大の日本製品輸入国であったにも拘らず、そのお返しがパール・ハーバーとはどういうことか…」と日本の背信を指摘し詰る内容のものであったと、述べており、また米軍の参謀から聞かされた話は、日露戦争のポーツマス講和会議のことで「当時日本は満州を席巻し、日本海海戦で完全に近い勝利を得た。しかしロシアの首都は４千キロも離れたペテルブルグにありロシアを降伏させることは不可能であり、あれ以上戦争が続くとロシアは満州に続々と大軍を送りこんで来て日本軍は負ける可能性があった。そこで日本に友好的なセオドア・ルーズベルト大統領が講和を斡旋して日本は勝利を収めることができた」とのことだった。この話は米国民のもっている対日認識の一部でもある。米国では日本という国は異質でありとても理解することは不可能だという「日本異質論」が叫ばれている。２千年以上前に地中海沿岸で繁栄を語ったカルタゴという商業国家があった。この経済大国はひたすら富の追求に励み努力した。そのうち富の蓄積が周辺諸国の羨望の的となり、それが嫉妬に、そして恐怖に変わり、憎悪へと高まって行き、

本年度会長テーマ　〝気軽に楽しく笑顔で例会――10年に向けて盛上ろう〟

遂には軍事大国ローマによって徹底的に破壊され滅亡した。この構図を現在の米国をローマに日本をカルタゴに置きかえてみるとき、今の経済摩擦の先に何がでてくるか鳥肌が立つ思いがします。同特集の石原、竹村両氏の対談で石原氏が「面白い話が出た。小型航空機のエンジンを製造する会社は今や米国に三つしかない。しかも30年前と同じものしか作ってないそうです。最近トヨタがターボエンジの基礎研究をやり始めた。これは数年のうちにきっとトヨタが市場を席巻しますよ」米国人が聞いたら何というか。話は変りますがロッキード事件は米国からの情報に端を発して起こされたといわれており今日の証券問題も海の向こうからの情報とも云われております。こんな仕掛けは本当だろうか。

◇講　演

"安全な食生活
（主として食中毒について）"
千種保健所長
笹野　英子さん　（紹介　水野(民)君）

近年の我が国に於ては経済水準、食生活の向上、環境衛生及び医療水準の長足の進歩により消化器系伝染病をはじめ感染性疾患の減少を来し、疾病構造の変化と平均寿命の延長に貢献しました。

そしてその結果重大課題となった成人病問題は人々の食生活に多大の関心を呼び起しています。

従って人々の食生活への関心は安全性のみに止まらず、健康への有用性にも及んでいます。

一方食品の安全性についても食品流通の広域化、国際化、複雑化、又、食品製造過程の複雑化、大型化により従来では生じなかった様々な問題をひき起こしています。がしかし食中毒の問題は古くて新しい問題であり、かつまた身近でもあります。

そこで今日は丁度多発する時期を迎えている食中毒にしぼって話をしたいと思います。

赤痢、コレラを始めとする消化器系伝染病の減少は著しいものがありますが、食中毒は依然として減少して居らず、毎年全国で千件前後の発生報告と４万人前後の患者発生が報告されています。

昨年度も埼玉県浦和市での病原大腸菌による幼稚園児下痢症事件を含めて926件（患者数37561人、うち死亡者５人）の発生がありました。

本誌に於きましても10件（患者数253人）発生しております。

現在食中毒起因菌として14物質ありますが、最近の３年間で発生した食中毒のうち約半数は腸炎ビブリオによるもので、この菌は近海産の魚介類が主な原因食品で、特に夏に多発します。

次に多いのは、黄色ブドウ球菌とサルモネラによるものです。

食中毒は一年中発生しますが菌の増殖しやすい高温多湿な夏季に特に多発します。

保健所では、食品関係業者に対し常々監視指導を行っておりますが、各家庭、個人におかれましても充分注意が必要です。

食中毒予防三原則、①食品に菌をつけない（清潔）②菌を増やさない（迅速・冷却）③殺菌を守っていただきまして、食中毒の発生を防ぎ、健康で豊かな生活を過されるよう願います。

◇情報抄録より

ロータリーの創始者による職業分類の説明

「職業分類によって会員を選ぶというやり方は、ロータリーの運動に対して、その論理的な理想を、社会に奉仕するあらゆる職業に属する会員以外の一般の人びとにまで、投げかける機会を与えることになります。また、自分と同じ職業に従事する他の一般の人たちに対して、その職業の最高の基準をつくり上げる仕事に協力してもらうという、一風変わった責任も負うことになります。

ポール・ハリス
ロータリーへの私の道

◇例会変更のお知らせ

名古屋中ＲＣ　8/19(月)名古屋・中・大須・栄４ＲＣ合同例会の為、8/20(火)名古屋観光ホテルにて P.M.12:30より

◇例会休会のお知らせ

名古屋中ＲＣ　8/12(月)定款第４条第一節により休会

名古屋名東ＲＣ　8/13(火)定款第４条第一節により休会
（ビジターの受付は致しません）

※上記以外の例会変更、例会休会につきましては、別紙(7/30配布済)参照して下さい。

◇次回例会（８月６日）

創立９周年記念例会（立食）

◇次々回例会（８月20日）

講演　"海─海のすばらしさ─"
日本外洋帆走協会　東海支部長
小林　義彦君　（紹介　吉田君）